

《1年生へ》

高校生になって初めての定期考査が終わりました。結果はどうでしたか。高校の勉強に慣れなくて、思うような結果が残せなかった人もいるかもしれません。中学校と比べ、学ぶ内容が少しずつ難しくなり、授業進度が速くなる高校では、授業の予習・復習をすることが基本になります。「予習→授業→復習」のサイクルを確立しましょう。まずは予習をきちんとし、授業に集中して取り組むようにしましょう。

《2年生へ》

学校の中心学年である2年生になってから2カ月が過ぎました。科目数や学習内容が増え、クラブ活動も一段と活発になってくる2年生では、自宅学習時間の配分など生活習慣を見直すことが必要になってきます。「帰宅時間、自宅学習開始時間、就寝時間、起床時間」を固定させ、無理のない生活習慣を築きましょう。「小テストの勉強は必ずする」「宿題は必ずする」「毎日1時間は勉強する」などの簡単にできる目標を設定して取り組みましょう。

《3年生へ》

受験勉強はいいスタートがきれたでしょうか。気持ちはあっても、部活動や学校行事などで忙しいために、なかなか十分な勉強時間が確保できない人もいるかもしれませんが、両立を目指して、部活動や学校行事に力を入れながらも授業に集中して、着実に力をつけていきましょう。

1学期から夏休みにかけては、受験生にとって1年間の中で基礎力養成期にあたります。次のようなことに気をつけて過ごしましょう。

- ①志望校を決めて学習目標を設定
- ②英・数・国を優先して基礎固め
- ③理科・地歴・公民は授業を最大活用
- ④弱点は夏休み中を目安に克服
- ⑤得意分野は徐々に応用力養成へ

補習も始まりました。忙しいからこそスキマ時間をうまく使って効率よい勉強をしましょう。まずは6月7日8日に行われるマーク模試に向けてしっかり準備して受験しましょう。

専門学校では6月からAO入試のエントリーが始まる学校もありますが、あせらず複数の学校を比較して、慎重に学校選びをしましょう。

受験雑誌『螢雪時代』4月号の中で東進ハイスクール英語講師の安河内哲也先生と灘校・英語教諭の木村達哉先生の対談が特集されていました。その中から印象に残るお話をいくつか取り上げてみます。何かのヒントにしてください。

木村：（「どうしたらやる気が出ますか？」という質問に対して）

大学受験の目標は何でもいい。大事なのは、**湧き上がるような意志のエネル**

ギーなんです。

木村：（「受験勉強を始める上で、大事なことは何か？」という質問に対して）
責任感を持つことやと思います。「**自分の成績を上げるのは自分だ**」と覚悟すること。「こうすれば成績が上がる、大学に受かる」というノウハウを知りたいがる生徒が多い。人生のどんな壁も、自分からぶつかり、もがき、自分の手で解決法を見つけ出さないと乗り越えられません。大学受験も同じ。自分で試行錯誤して自分にとってよい方法を探さないとあかん。**答えは与えられるものではなく、見つけるもの**なんです。

木村：（「何から始めればいいですか？」という質問に対して）
何をすればいいかわからずにぼんやり過ごしてしまっている生徒には、**とにかく行動せよ**と言っています。書店に行って参考書を買うとか、問題を1問解いてみるとかね。

安河内：とにかく行動するというのは、何よりも大事ですよ。始めること、そして、**続けること**。これは、受験、英語学習、仕事、あらゆることに共通する“成功の法則”だと私は考えているんです。

とにかく始めなきゃ。とくに受験勉強の場合は、やってみて初めて、自分に足りない部分や課題が見えてくる。「何をやればいいかわからない」という人は、何もやらないからわからないんです。教科書を読むなり基本問題を解いてみるなり、実際に行動してほしい。

進路指導室の利用について



- ① 昼休み・放課後、進路指導室を利用したい場合には、進路指導部の先生に声をかけてください。また、気軽に進路相談などに来てください。
- ② 赤本等の問題集の貸し出しについては、必ず『貸し出し簿』に記入の上、借りてください。

貸し出しのルール

- ・貸し出しは、原則1冊
- ・貸し出し期間は、原則1週間
(冊数は限られているので、たくさんの人が使えるようにルールは守ってください。)

- ③ 進路指導室前の廊下にある資料について
 - ・『レターケース内の資料』は、閲覧はしてもいいですが、絶対に持ち帰らないでください。
 - ・それ以外の資料（オープンキャンパスやガイダンス、模試の案内等）やレターケース以外の棚にある学校案内や過去問題集は、自由に持ち帰ってもいいです。

【ウラにつづく】

合格体験記

次の文章は今春本校を卒業した第33回生が書いてくれた合格体験記からの抜粋です。今後の充実した学校生活を送るために、また進路実現するために参考にしてください。

進学 甲南大学

甲南大学を志望校に決めてからは、それまでのやってるようなやってないようなへなへなした勉強ではなくなり、超本気になりました。人間目標を定めると、不思議と力が湧いてくるものなんですね。こんな僕でも例外ではありませんでした。毎日の勉強が楽しくなっていき、あまり苦痛ではなくなりました。早く勉強したいと思う時もあり、自分でも信じられませんでした。

継続とは難しい行為です。ましてや嫌いなことになるとよりいっそうそうです。でもその見返りは大きいので、あきらめず頑張り続けてください。

進学 近畿大学

僕が受験をする上で最も大切にしていたことは量です。勉強は質が大事だとよく言いますが、量を伴っての質だと思います。量をこなすことは大変ですが、やって良かったと思えますし、何より今僕が1番感じていることは達成感です。部活を最後まで頑張ったことも勉強を頑張れた1つの大きな理由だと思います。

就職 兵庫県警察官

僕が試験勉強を始めたのは試験の1ヶ月半くらい前で、さすがに無理かなと友達に言った時、そんな中途半端な奴には警察官になってほしくないと言われました。正直、今までの人生の中で一番心に響いた言葉でした。その日から何時間も勉強をして、一発で合格することができ、今ではその友達には感謝の気持ちでいっぱいです。やっぱり目標に到達しようと思えば、苦しいことは避けられないと思うし、厳しいけれど逃げちゃだめだと思います。たくさんの人に支えられたから今の自分があると思うし、苦しいことも1人ではなくみんなで支えあって頑張ってください。